

平成30年度

# 大阪文化祭賞 受賞者決定

## 大阪文化祭賞

第一  
部門

七月大歌舞伎  
「女殺油地獄」の成果

坂東竹三郎

第二  
部門

「六代目笑福亭松鶴生誕百年祭」  
企画の成果

六代目笑福亭松鶴生誕百年祭実行委員会

第三  
部門

「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」の成果

尾高忠明指揮  
大阪フィルハーモニー交響楽団

## 大阪文化祭 奨励賞

第一  
部門

第656回  
大槻能楽堂自主公演能「俊寛」の成果

浦田保親

第一  
部門

「MIZUNO KOTO ACADEMY  
ORIGINAL CONCERT vol.14」の成果

水野箏曲学院

第二  
部門

第117回公演 創立70周年記念公演  
「はてしない物語」の舞台成果

人形劇団クラルテ

第二  
部門

第17回公演  
「となりのところ」の舞台成果

からっばれ  
空晴

第三  
部門

「センチュリー・ジャズ・ナイトVol.3」  
の成果

日本センチュリー交響楽団

第三  
部門

「HAMLET」の成果

DANCE PROJECT 218.  
にいや





# 大阪文化祭 奨励賞



## Profile

観世流能楽師シテ方。昭和42年京都生まれ。幼少より父保利、長じて大槻文藏師に師事。3歳で初舞台。以後数多くの子方を演ずる。10歳で初シテ。その後、石橋・道成寺・翁・安宅・求塚等の大曲を演ずる。(公財)京都観世会理事・(一財)京都能楽会理事。「ちかの会」「保親浦声会」等主宰。重要無形文化財総合指定保持者。

第一部門

## 第656回 大槻能楽堂自主公演能「俊寛」の成果

浦田保親

その質の高さで全国的に注目されてきた大槻能楽堂自主公演能で「俊寛」を演じた浦田保親は、絶海の孤島に一人残される運命を暗示する冒頭の謡を説得力ある謡によって示し、以下、赦免状を見返す場面から船が遠ざかってゆく終曲までを、師大槻文藏率いる地謡の力もあって、弛緩なく演じきった。その舞台は大阪文化祭奨励賞に値するものである。



## Profile

邦楽作曲家水野利彦が主宰する箏曲の演奏家、愛好家の団体。札幌、仙台、東京、大阪、福岡にスタジオを開き、箏曲の普及のために、演奏や教授活動を行っている。箏曲のイメージを変える様々なジャンルの曲を創作、演奏。門下生からプロの作曲家、演奏家も育っている。

第一部門

## 「MIZUNO KOTO ACADEMY ORIGINAL CONCERT vol.14」の成果

水野箏曲学院

140曲以上を世に送り出している邦楽作曲・演奏者の水野利彦が主宰する水野箏曲学院が催す演奏会で、彼の新作や指導する若手達の作品等が大阪で発表される貴重な機会。水野曲の特徴は難解なイメージが強い現代邦楽を、「音楽」として奏者にも聴衆にも取り戻したことにある。大阪での活動継続と関西における現代邦楽発展の期待を込め、会全体の成果として贈る。



昭和23年戦後すぐの大阪で劇団設立。クラルテはフランス語で光という意味。大阪市住之江区にアトリエを置き、全国の保育園や小学

第二部門

## 第117回公演 創立70周年記念公演 「はてしない物語」の舞台成果

人形劇団クラルテ

ミヒヤエル・エンデによるファンタジーの傑作「はてしない物語」を人形劇化。独創的な約30体の人形と美しい舞台美術、ダンサーの身体表現を通して観客の想像力を喚起し、主人公の少年の心の軌跡を細やかに描き出して、共感できる作品に仕上げた。70年に及ぶ劇団の歴史の中で磨かれた技法を伝承しつつ、新たな表現に挑んだ姿勢は高く評価できる。